



2019年7月9日

各位

会社名 リベステ株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 河合純二  
 (JASDAQ・コード8887)  
 問合せ先  
 役職・氏名 常務取締役 上林剛  
 電話 048-944-1849

## 通期業績予想の修正及び特別利益の計上に関するお知らせ

当社は、2018年7月12日に公表した2019年5月期通期業績予想の修正と、当事業年度において特別利益(債権譲渡益)を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2019年5月期通期業績予想の修正

(2018年6月1日~2019年5月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	9,000	1,622	1,716	1,180	99円59銭
今回実績(B)	6,123	530	1,016	1,090	92円02銭
増減額(B-A)	△2,876	△1,091	△700	△89	—
増減率(%)	△32.0%	△67.3%	△40.8%	△7.6%	—
(ご参考)前期実績 (2018年5月期)	5,788	907	1,079	894	75円51銭

#### 修正理由

第41期は、2020年の東京オリンピックに向け東京近郊の不動産流通は活発になっておりますが、地価・資材価格・人件費の高騰を受け建築コストが高止まりし、実需を抑えている状況であります。このような環境の下、開発事業については在庫リスクを回避しながら利益を重視したビジネスホテルの販売を行ってまいりましたが、不動産ファンドから富裕層まで幅広く提案を行ってきたため時間が掛かったこと等により、売上高が予算に対して2,876百万円減少の6,123百万円となりました。利益につきましては、売上高の減少により売上総利益が792百万円減少するとともに、当期に競売により取得した開発物件について、開発許可の遅延により鑑定評価が低下したため442百万円の評価損(売上原価)を計上いたしました。このため、営業利益が予算に対して1,091百万円減少の530百万円となり、経常利益は貸付債権を売却したことで貸倒引当金戻入益247百万円を計上したこと等により700百万円減少の1,016百万円となり、当期純利益は貸付債権売却による債権譲渡益518百万円(特別利益)を計上したこと等により89百万円減少の1,090百万円となりました。なお、配当金につきましては、期末配当20円(年間配当40円)からの変更はございません。

#### 2. 特別利益の計上

通期業績予想の修正理由でも記述しましたが、短期貸付金に計上しておりました一部債権につき売却を行ったことにより、債権譲渡益として518百万円を特別利益に計上いたしました。

以上